

# 希望 21

ありふれたことだけど  
かけがえのない  
希望がここにある

People's Hope for 21 century

平和・自治・共生

## No.36

1部 200円 年間購読 3000円

神奈川県相模原市上鶴間2973-3-110

TEL & FAX 0427-40-4794

E-MAIL jah03412@niftyserve.or.jp

郵便振替：00100-1-97125 希望21



## より意識的に魅力ある活動を！

## 新しい時代の幕開けを私たちの手で

### 第4回希望21全国大会報告

8月28日から3日間、希望21第4回全国大会が関西のキャンプ場で開催されました。

この一年間にアジアの国々をおそった経済不安。金融ビッグバン、銀行や、証券会社の破綻。そして、新ガイドラインの見直しetc。暗く重い雰囲気、厚い雨雲のように私たちの暮らしを覆い尽くそうとしているような一年でした。

そんな中で今まで、無口だった人々も少しずつ世の中を変えていかななくてはと思い始めた中での参院選でした。結果は、予想どおり厳しいものでしたが、人々の関心が、ようやく政治に向き始めた年ではないでしょうか？大会に集まった仲間たちは、いろいろな思いや決意を抱きながら、集まってきました。

今大会は、第3回大会に掲げた方針がどこまで進み、参院選が終わった今、これをどう評価し、今後の希望の活動をどう作っていくか、3日間にわたって討論をしました。以下大会の概要を報告します。

第3回大会で掲げた方針は以下の3つです。

- より広範な平和を希求する人々と「市民の絆」を形成し、社民党を明確な平和勢力として浮上させ、護憲平和勢力の結集軸としていくことで情勢の転換点を作り出すこと。
- 地域に結びついた視点からガイドライン見直しを許さない広範なうねりを作り出すこと。
- 「希望」の中にイベントや学習会など多様な活動の場をつくり、新しい人々、若者との出会いの場を作り出していくこと。

# 1. 絆・そして社民党の現在について

「市民の絆」は9.7.8に川越で最初の結成があり、各地の準備会も含めた絆全国連絡会が正式に発足。大阪、東京、京都と結成され、神奈川、愛知、滋賀、北九州などでも準備会が作られ活動が開始されました。

参議選においては、市民選対を組織。市民政党への脱皮を目指す社民党変革の一助を担いました。市民選対には、これまで選挙に無関心だった若い人や、ボランティアが数多く参加し、新しい人々との出会いという意味では、大きな成果を上げることができました。

しかし、選挙期間中、社民党候補者は各地で、与党離脱後もいつ自民とよりを戻すのか、「信用できない」という声にぶつかりました。選挙を闘った希望メンバーも、支持を広げるのに難渋しましたとの報告がされました。

私たちはこの一年間、かつて護憲政党としての社会党を支えてきた人々をはじめとして、より広範な平和を希求する人々と「絆」を形成することで、社民党を護憲平和勢力の結集軸としていくことによって、情勢の転換点を創り出していこうと呼びかけてきました。参院選直前になって、ようやく与党離脱し、結果として、ミニ政党となってしまった社民党は、まだ平和護憲勢力の結集軸には、なりえていないかもしれませんが、ここから始めるといった、決意をもって欲しいと思っています。

また、先の参院選に取り組むにあたり、希望21のメンバーも参加した、市民新党新潟の呼びかけに

よる「全国会議」において、社民、新社会、ローカルパーティー派と大きく3者の勢力を護憲統一戦線として結集させたい意向を示しはしましたが、その方向性を提起し抜くことができず結果的に多くの地域では護憲・市民の力は分散することとなりました。参院選で、三者統一戦線を実現し当選を勝ち取った新潟地域の活動を積極的に評価すると共に、希望21として、力量不足を総括しなければなりません。

来る統一地方選においても、「市民の絆」とローパス等が提唱している「虹と緑の500人リスト」は現在のところ接点が希薄なまま平行して進んでいます。先の参院選の経験を省みながら、(もちろん選挙の性質が違うので、候補者の一本化ということに集約されませんが)両者の力が分裂するような方向は回避しなければなりません。

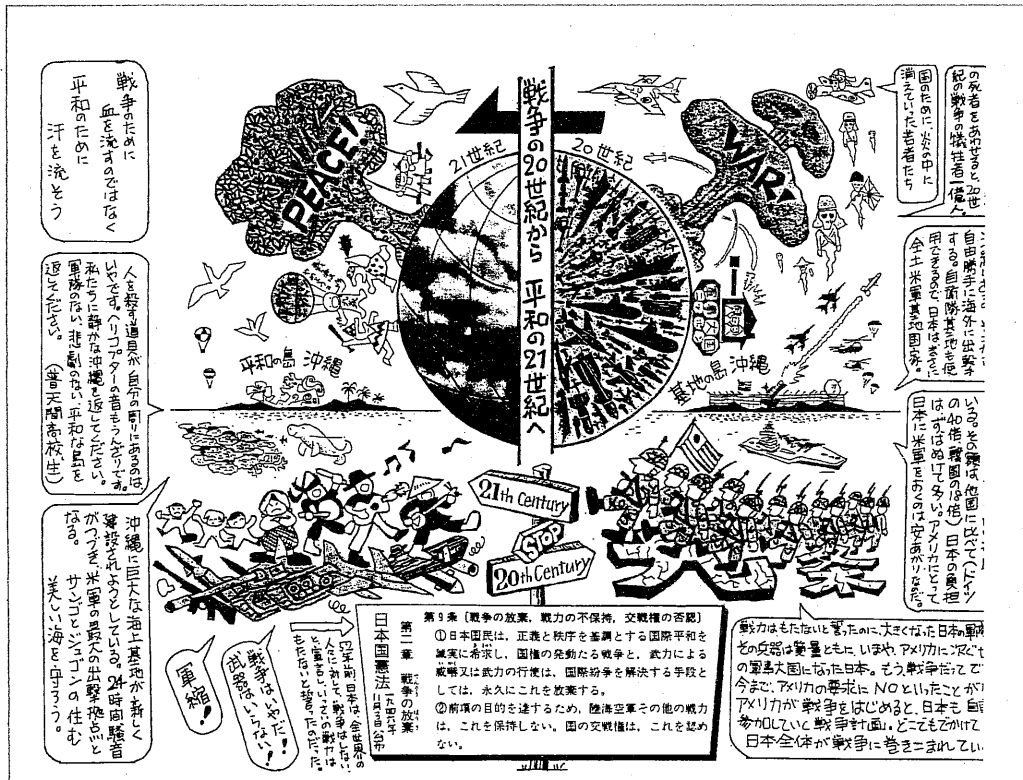
私たち希望21として、この社会をどう変えるかという積極的な展望を語りながら 来る統一地方選挙においても、統一戦線の推進という観点で、関わっていかうということになりました。

# 2. 地域に結びついたガイドライン見直しを許さないうねりを創り出す

ガイドラインの見直しは日米軍事同盟を押し進めていく日本社会の作り替えであり、私たちは、暮らしや安全といった地域と結びついた視点から見直しをストップさせ、軍事同盟そのものをなくしていく運動を作っていく必要があります。それは、これまでのような平和を守るという姿勢から、私たち自身が平和を創り出すという、より積極的な姿勢で取り組む必要がある

ということを機関誌などでも呼びかけてきました。尼崎の「ピース・ウォーク」21世紀へ平和をつなごうというデモンストレーションは、12月14日に阪急塚口駅前から始まりました。はじめはたった9名の参加者だったものが、回を重ね地元のロックバンドをも巻き込み、50人規模のデモンストレーションに成長しました。参加者の中には単にロックバンドの演奏を楽しんでいるだけの人もいますが、確実に一つのうねりを地域に生み出したと言えるでしょう。

「市民の絆・東京」や9条の会・京都を窓口にし



「ピースウォーク」で配ったピラ

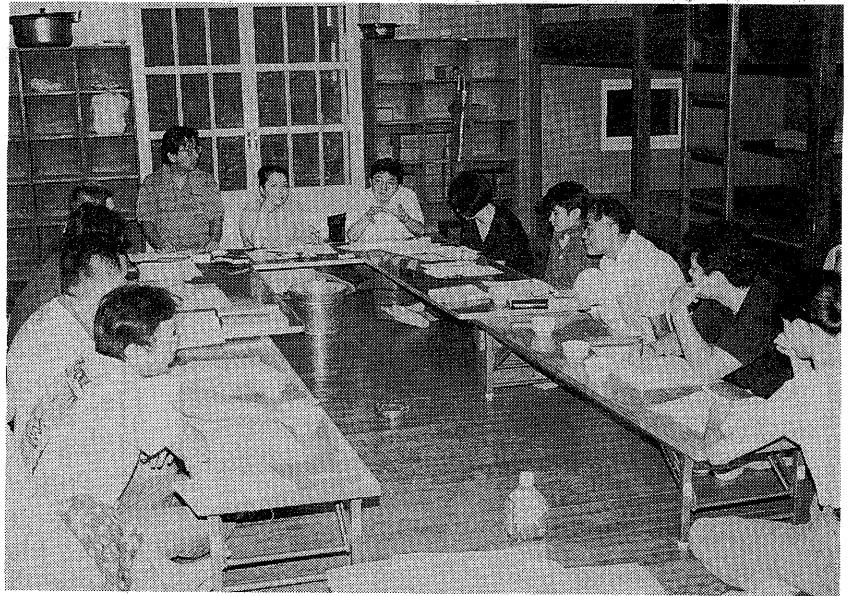
ての沖縄・名護の選挙応援などのへ取り組みや希望・未来主催の、厚木基地の見学会なども報告されました。

これらの運動を、一過性のものとして終わらせるのではなく、地道にさまざまな形で地域に運動を蓄積し、他地区へも広げていこうということが確認されました。

### 3. 新しい人々、若者達との出会いの場を創り出す

尼崎・「ピース・ウオーク」の取り組み、東京の「未来」・希望主催による連続講座の取り組みが、報告されました。「未来」の連続講座は、参院選の取り組みもあり3回の開催に終わりましたが、そこで出会った人たちを個別課題ではなく、よりトータルな政治へと関心を広げ、希望との共同行動がとれるようにするにはどうしたらいいのかという事が今後の課題として上がっています。尼崎で取り組んでいる「ピース・ウオーク」でも、平和行動から地域課題、政治へとどのように視野を広げていくかが課題となっています。

多くの出会いが地域の活性化に結びつき、活動や組織を豊かにしていくためにも、希望はより意識的に魅力ある活動、出会いの場を創り出していくことが必要です。各地で具体的な計画を作り、チャレンジをすることが求められています。肝心なことは、私たち一人一人が生き生きできるような活動ができているかどうかであり、それをまず創り出し、広げていくことから始まります。



### 4. 今期活動方針 (98年9月から99年8月まで)

世界にのさばるグローバリゼーションの動きに抗し、改憲を許さず平和・自治・共生の社会の実現に向けて統一戦線づくりをめざそう。

統一戦線の土台となる広範な人々とのつながりを各地域の特性・メンバーの個性を生かした多様な活動の中から作り出していこう。それらの人々とともに地域における政治的力量を蓄積してゆこう。そのために今期は次の3点を重点課題として、取り組もう！

- I. 「市民の絆」の形成という前年度活動方針を更に前進させ、地域における「市民の絆」の実体化を進めよう。また、「市民の絆」の政策立案能力をともにつくりだしていこう。そして、社民党の市民に開かれた党への改革を共同し進めよう。
- II. 地域や人々に開かれた生き生きとした希望に成長して行くことが必要です。開かれた希望へと転換して行く第1期の年として地域の中でのこれまでの希望のあり方を検証し、希望の中間の拡大に組織的に取り組もう。
- III. 来春の統一地方選は、市民の政治的な力を地域に作り出す大きな節目となるものです。各地域・希望全国としても、組織的な力を発揮し、取り組もう！



## 特集

# 希望大会参加者の声

### ♠ いやあ、子どものいる風景って

いいねえ。5才の姉ちゃんと3才の弟くんが大会の間ずっとにぎやかにいてくれて、楽しかったよ。別居している私の8才の娘も連れてきたかったんだけど、ここんとこ父親離れが急進行で、うちに泊まりにも来てくれないし……。近所の友達と遊んでいたいと思うのも当然だし、いいことなんだけれども……。ダッコしてえ、とか遊んでえ、とか言ってくれるうちが花だよなあ、とかうちの子もつい先日まではこんなだったよなあ、なんて思いながら子供たちを見ていたよ。

もっと子どもが多く参加すれば、子供たちだけでもいっぱい遊べるし、全体ももっと楽しくなるんだろうけど、実際問題としてはなかなかねえ。

楽しく、ということ言えばみんなでなにかゲームをするとかしてもよかったかな、と思う。初めて顔を合やす人や、大会くらいでしか会わない人なんかも多いわけだから。(1日めのことは参加できてないので分からないけれど) 2日めのキャンプファイヤーの時、私も含めて芸がなく飲み食いしてバラバラに話すだけだったのはもったいないことをした、と思う。

大会終了後、帰りの車の中で山梨の佐藤君が、「ボク、門真市議選で戸田さん支援のために、門真に張り付いてもいいですよ」と申し出てくれたのでびっくり。聞けば失業中とのこと、人生何が幸いするか分からない。さっそく11月くらいから寝ぐらを用意して、専従で動いてもらう構想ができてきた。こんな力強いことはない。

この希望大会で、個人的には最大の収穫とも言える。来年4月末には、戸田も佐藤くんも希望のみんなも、新たな市議が希望から誕生した喜びを共有できることだろう。お楽しみに。!

(ただ、私以外の出馬予定者からは、あまり具体的に切迫した感じを受けなかったの、大丈夫かいな、という心配は感じている。選挙って全知全能をかけた総力戦やで。)

大会準備してくれた全国委や尼崎のみなさん、ありがとうございました。何もお手伝いできなくてゴメン。

(希望21大阪 戸田ひさよし)

### ♣ 初めて参加して

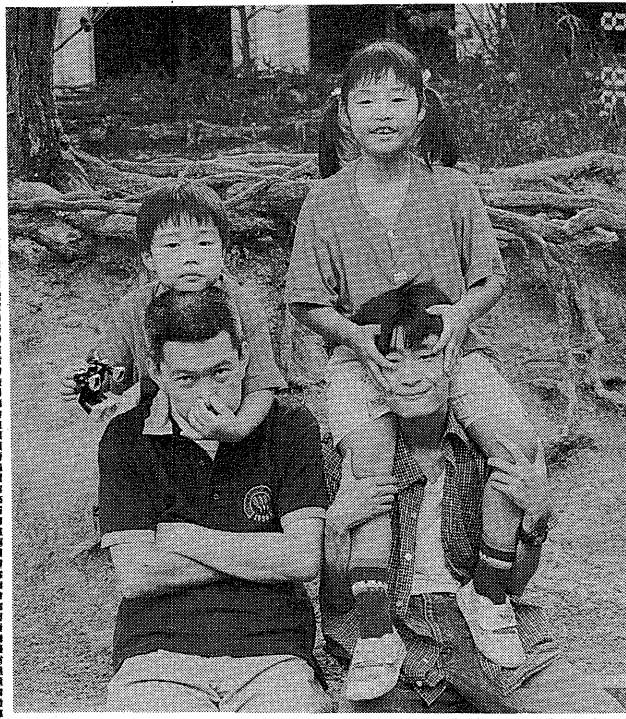
2泊3日の合宿という形で食事もみんなで作るということだったので、二人の子どもを連れて参加してみた。予想通り子どもたちは、会議中はしゃぎまわっていた。各地の活動の報告では、どこでどんな人がどんな思いで活動しているか、直接感じる事ができたのが、何よりも今回の僕の収穫だった。特に、今回関東の仲間たちと初めて会い、それぞれ、日々奮闘している状況がよくわかった。よくありがちな形ばかりの全国大会でなく今回の2泊3日という時間もあり、ゆっくり話し合いができたような気がする。統一戦線づくりをめざす希望としての総括「市民の絆」を通して、何ができたのか等、テーマを絞ってじっくり論議する時間ができて良かった。そしてその中でそれぞれの違いや同じことが、出し合えて、より深く確認できたような気がする。

会議が終わったあとでも、火を囲んで、それぞれの生活状況や体験を語り明かした。希望のイメージソングもみんなで歌ったが、なかなかいいメロデーだった。家に帰って僕が繰り返し歌っていたせいか子どもたちも時々口ずさんでいる。

この一年 希望の仲間は各地で、新しい人、若い人達と出会ってきたのは確かだ。まずは、人との出会いから。そしてお互いが変わり合って、自分たちの考えを確かめ力をつけていく。

長い道のりだが、"平和、自治、共生の社会を創り出すために、尼崎でも、これからも新しい人達と出会い、地域運動をしていきたい。各メンバーの問題意識や個性を大切にしながら、それを活かして、地域の中で人々に学び様々な表現方法を使って、一步一步見える形で進んでいくことが大切だと重う。

(希望21尼崎 武内司郎)



## ♥ 来年は、楽しみにしています

8月28日～30日に野外活動センターでこれまでにないキャンプ方式の2泊3日の日程で開催され、三多摩からは4名が参加しました。

折からの台風の接近と異常天候が、東北地方に大雨を降らせ、出発日は東京にも強い風雨が吹き荒れ、乗り合わせ予定の新幹線では合流できなかったものの、新大阪駅でようやく合流し、一安心。名古屋あたりから、雨雲は切れ、台風がきているのをすっかり忘れてしまうような天気。在来線に乗り換え大阪の町並みをすぎ、次第に緑の濃い町へやってきました。そこで関西の仲間と合流し、キャンプ場に到着しました。

夕食後、「未来はみんなで作り隊」のメンバーも到着し、各地域からの報告と質疑が行われました。各地域ともいろいろ難しい課題を抱えており、「すごい！へー」とまではいかないですが、「戦争はいかん」と毎月14日にピースウォークとコンサートを開催している尼崎からの報告は、三多摩希望のメンバー拡大の参考にさせていただきます。三多摩からは、日野市議選の報告等を行いました。候補者の乱立と無所属市民派全体の得票率の落ち込みなどについて、他の地域からの質問が多く出ました。また、三多摩希望のメンバーが減ったことについてその原因は何かなどといったことなども質問されました。三多摩としては、きつい報告でしたが、他の地域での活動の参考になればと思いました。

今回の大会は、左右にロフトのある50人はゆうに泊まれるくらいの大きな山小屋で2泊3日の日程で行われたこともあって、時間的余裕があり、討論や交流会も充分できたのではと思っています。また、3日間を通じて雨もほとんど降らず、野外での食事の支度（少々不便でしたが）をする事でそれなりに連帯感も生まれ、良かったです。

準備をしてくれた関西・尼崎の仲間には心からお礼を申し上げます。

来年の大会は東京の三多摩で開催とのこと。今大会と同様の日程で行うのであれば、できるだけいろんな面で環境の良い場所を探して、全国の仲間に参加してもらい、満足して帰ってみたいと思っています。

(希望21三多摩 荻野朝雄)

## ◆ 煙の中で見えてきたこと

今年は、関西にあるキャンプ場で金曜日の夕方から日曜日の3日間の会議となった。

会議は、夕食後なので、さっそく夕飯づくり、尼崎のメンバーが持ち込んだ大きなガスボンベを使ってカレーを煮込む間、ご飯は薪で炊くことに。久しぶりに薪に火をつける。はじめは、段ボールを燃やして薪に火をつけようとするが、段ボールだけが燃えて、なかなか肝心の薪に火がつかない、使い終わった、時刻表まで使ってようやく小さな火が細い枝に燃え移るが、それがなかなか太い薪に燃え移らない。「そうだ薪を割ろう！」太い薪をなで割ったことによって、ようやく太い薪にも火がつき始めた。ここまできたらこっちのもの、ときどき薪を足し、風を送っていれば、よく燃え続ける。想像した以上に火力も強く、上手にご飯が炊けた。

今、社会をにぎわせている、長銀問題や、じりじりと私たちの生活に押し寄せてきている不況。社会的弱者が、苦しまなくてはならない社会に対して、参院選では、人々の怒りが巻き起こったのに、選挙が終わり、自民党の総裁選に話題が移り、さらに毒入りカレーや毒入りウーロン茶などの様々な事件に気を取られている隙に、私たちの怒りがうやむやにされてしまったような感じだった。段ボールがめらめらと一時的に燃えるだけですぐに消えてしまい、勢いよく力強く燃えていかない「はがゆさ」。なんだか私たちが今までやってきた運動にも似ていると思った。一生懸命やっているのになかなか広がらない、続かない・・・燃え尽きる・・・。

私たち希望の役割は、薪を割るように、自分自身を変革し、様々の市民運動間の固定した関係性・人と人との関係性をもう一度捉え返し、新鮮な風を巻き起こし、広範な人々と一緒に社会を変えうる統一した力を作っていく、そんな作業を担っているんだよね！？

帰ったらさっそくできることから始めよう。無理せず身近なところから楽しくね。

みんなできびきりおいしいご飯を炊こうよ！

(希望21 三多摩 矢澤)





# おもしろいのはこれからや 参加型民主主義の実現に向けて 「市民の絆・京都」の結成

ちょうど参議院選挙の投票日にあたる7月12日、半年の準備を経て「市民の絆・京都」（共同代表＝飛鳥井けい子・津田光太郎）の第1回総会がもたれ、会の発足が確認されました。参議院選挙の結果は、多くの有権者が今の自民党の政治にNo!の声を突きつけました。私たちが投票を呼びかけた社民党・市民派は、その声を今回結果に結び付ける事はできませんでしたが、大阪の「市民の絆」の仲間の言葉をかりて「おもしろいのはこれからや」と、言い切りたいと思います。

そんな思いを込めて、この7月26日、「市民の絆・京都」は、会の結成に主旨、活動内容の紹介から多くの仲間への参加呼びかけをかねて、「市民の絆・京都結成記念講演会」（問題提起：伊藤公雄氏／テーマ：市民主体の政治をどうとらえるか——最近のイタリアの動き、そして日本）を開催しました。

当日は、炎天下の中朝10時半から三条大橋に出て、会員でもあるシンガーのくすきしんいちさん、そして東京の「市民の絆」からわざわざ駆けつけて下さった菅原ニョキさんのギターと歌声にのせ、絆結成と今日の集会への参加をアピール。午後1時半、会場のハートピア京都には、63名の方々がこの講演会に参加して下さいました。

講演会は、くすきさん、ニョキさんのオープニングコンサートから始まり、イタリアでの政党連合「オリーブの木」形成に至る歴史的経緯から自由な相互批判のための共産党も含め政党内部の自己変革の過程を詳しく紹介され日本の政治状況への問題提起をして下さった伊藤公雄さんの記念講演。中川智子さん（衆議院議員）、飯沼二郎さん（京都大学名誉教授）、山中高吉さん（全日農京都府総連合会名誉会長）の連帯アピール。東京、神奈川、大阪の各「市民の絆」からのアピール。そして、「市民の絆・京都」の紹介呼びかけから運営委員の自己紹介と、盛りだくさんのプログラムで、各アピールを下さった方々も含め集会に参加下さった一人一人の意見交換の時間を十分にとる事が出来なかったと反省もあります。しかし準備の過程で新しく出会った仲間と何度も時間をかけて議論し、手作りの集会としてこれを成功させる事が出来た事は、絆・京都の会員全員にとってとても嬉しい事でした。

「市民の絆・京都」は、これから「京都まちづくりプロジェクト」（統一テーマ：憲法を活かした街づくりを！）をスタートさせ、「平和——戦争のない世界をつくろうよ」「自治——ぼくらの街はぼくらでつくる」「人と人の共生——誰にとっても暮らしやすい社会って」「人と自然の共生——環境に優しいは人間に優しい」の四つのチームを中心に、具体的な政策提言とその実現をめざした活動に入っていきます。

「市民の絆」は、参加型民主主義への市民の側からの新しい試みです。それは、政党、行政、企業といった政治決定を構成する既存の要素と市民との新しい関係を模索し、民主主義を実現するしくみそのものに大胆に介入し、等身大のものに作り変え、あるいはあらたに創り出していくという、いきの長い仕事を含みます。もっと多くの人との絆をめざして、共同の作業をはじめたいと思います。

津田光太郎  
（市民の絆・京都、希望21・京都）



## 「希望21」関西交流・学習会

8月8日、吹田勤労会館にて、全国大会の議案討議と学習会をかねた関西交流会が行われ、数名の欠席がありました。久しぶりに皆が顔を合わせ、議論しました。

交流会は次のような目的と内容でおこなわれました。

### 目的

- 1、参議選後の絆の総括を主とする議案討議・各地報告
- 2、大失業時代を迎えた労働運動の現状を学ぶ
- 3、地域を超えた交流の場として

### 内容

#### 第1部

- ①絆と参院選 報告・大阪・京都
- ②各地報告
- ③全国大会議案討議 報告・全国委員
- ④パネルディスカッション・

「グローバル化と失業」

#### パネラー

管理職ユニオン関西	仲村 実 さん
西成合同労組	小原 吉苗 さん
北大阪合同労組	村 和幸 さん

#### 第2部 交流会

いいかげんな経営で破産するはずの銀行は「公的資金」で救助されて、その銀行の貸し渋りで、店や会社は倒産。父さんは失業、家族はくら一い気持ちで21世紀を迎えようとしています。

大失業時代に入り、労働相談・争議が頻発しています。未組織パート・アルバイト労働者を対象として合同労組が活気づいているのです。希望のメンバーは比較的「市民運動」領域での活動が多いと思いますが、原点に帰って労働運動の話を聞いてみようということで、「グローバル化と失業」というテーマで労働運動の現場で活躍されている3人のゲストに厳しい労働現場の現状を報告していただきました。

グローバル化という名の市場主義が世界を覆うなかで、日本の労働者は今どのような厳しい競争にさらされ、この混乱のなかから何を掴み取ろうとしているのでしょうか。

管理職ユニオン書記長 仲村実さんは、日本でも大失業時代と叫ばれているが、これは日本だけの問題ではなく、韓国でもインドネシアでも失業と賃下げに見舞われている。世界的な現象であり、それ故、失業と賃下げへの闘いは世界的な闘いに直結すること。

そのなかで「管理職」は、いわば、日本の高度経済成長を支えてきた人々だが、リストラに資金をかけなくなってから大人の「イジメ」が発生してきた。今後倒産などで相談はもっと増えてくるだろうが、自分で考えて、行動する。ただ、一人でできないことを労組は支援する＝「決めて動くのはあくまで自分」を強調しているそうです。

それぞれの労働者が資本に対して自分の立場をはっきりと主張して立ち上がることで、そして、自らも闘いたければ、他人の応援もしないといけない。と同時に働き方＝社会的に有用労働とは何かを問いたいということで、「自立・連帯・共同」をスローガンに活動しているとのことでした。

合同労組の市村さんは、具体的な争議例を紹介し、労働講座に毎回新しい人が、20人くらい参加するそうで、雇用が脅かされている現状を反映すると同時に、合同労組の高い可能性を示し、希望のメンバーも是非合同労組運動に関わるよう訴えられました。

小原さんは、20年にわたる労組活動で、賃金を含む労働条件はハイレベルまで勝ち取ってきたのですが、企業が倒産の危機に立たされ、経営にまで踏み込んだ組合運動を手がけられている経験を話されました。

3人の報告は、それぞれに興味深く、示唆に富んだものでした。時間的な制約で、討論の時間はあまりとれませんでした。グローバルズムに対抗する労働戦線の一端を垣間みることができ、とても刺激になったと思います。

(希望21・尼崎 山田)



## 編集後記

びっくり！目を疑った！

在日米海軍厚木基地の住民が「ダイオキシン被害」を訴えたら、日本政府は民間産業処理業者の施設改善に伴う費用を負担することを決定したそうだ！

産業廃棄物の環境汚染は、何も厚木基地周辺だけにあるわけではなく、娘の高校の周りもまさに産業廃棄物処理業者の煙突だらけで、野球部・サッカー部、陸上部も流れてくる煙に悩まされながら、活動をしている。地域住民やPTAも動きだし、民間のテレビニュースの特集で取り上げられるなど、このところ関心は高まっているけれども、役所に申し入れてもほとんど動いてくれない。どうも納得がいけない。

厚木基地といえば、また夜間の離着陸訓練が始まった。上空を通過するときは、ものすごい騒音で、テレビの音もよく聞き取れなくなる。武装するためにお金を使うのではなく国民の生活権を守るためにお金は使って欲しいと、思うのです。(ち)

## 希望の21世紀宣言

私たちは、現在のモノ中心の社会を、人間が人間らしく生きることのできる社会へとつくり変えていくことをめざします。

人間らしい社会—人と人が平等に、ともに助け合って、人間が自然の一部としての本来の姿で生きることのできる社会—を実現することこそが、人々の希望です。私たちはそのために、あらゆる領域で民主主義を徹底し、民主主義の実現をはばむものに対してたたかいます。

私たちは、世界に戦争と大国主義の不平等をもたらす憲法改悪を許しません。9条の理念の実態を日本から作っていくことによって世界の平和と民主主義の実現に貢献していきます。国と国とは対等平等の関係にあり、人間らしく生きることの豊かさの尺度に、人々の在り方を人々が決め、どこの誰も本当に武力を必要としない国際社会の実現こそが、平和の実現です。

私たちは、地域から国の進路、世界の在り方を決定する政治的なる力をつくっていきます。そのために、私たちの意志、知恵や力を結集し、互いの経験に学び合い、信頼を築き合いながら、自治の実現をめざします。何かに頼ることなく、広範な人々とともに、変革の力をつくり、その統一を推進することを自らの役割とします。

世界の現実を変えること—それは私たち自身の在り方、運動の在り方を変えることなくしては実現できません。私たちは自らを変え、人と人との関係を変えあうなかで、現実を変革していきます。本音を出し合い、あらゆる困難をともに克服し、成功や喜びを、そして失敗や悲しみをも共有し、助け合ってたたかひの輪を広げ、その中に新しい社会を準備していきます。

人間らしい社会の実現をめざし、世界の平和と民主主義を求める人々とともに、希望の実現に向けて進みます。

1部200円 定期購読をよろしくお願ひします！年間購読料3000円（送料込み）

郵便振替：00100-1-97125『希望の21世紀』

月刊『希望の21世紀』●36号●1998年9月26日

発行●「希望の21世紀」全国委員会

編集●希望21三多摩 印刷●Jam Print

連絡先●希望21・三多摩

東京都日野市多摩平6-20公住219-5 三浦方

TEL&FAX 0425-82-2407

●希望21・京都

京都市伏見区石田西ノ坪1番地 醍醐石田団地1号棟417号室 吉田方

TEL&FAX 075-572-4445

●希望21・未来はみんなで作る隊

東京都杉並区高円寺南2-39-15 光荘203 菅原方

TEL&FAX 03-3314-1505

●希望・大阪

大阪府門真市北巢本町17-7安井文化202 戸田方

TEL&FAX 0720-85-6491

